

令和8年度一般選抜（前期日程） 歴史総合・世界史探究 標準解答例

〔1〕（30点）

イギリスは17世紀以来、北アメリカおよびカリブ海で植民地を建設しながら、航海法の制定と三次にわたる英蘭戦争をつうじ、中継貿易で繁栄していたオランダに大打撃を与え、貿易を急速に発展させていった。東方ではインド沿岸の港市に商館を設けて綿織物や茶などを輸入し、アジアの物産の流行を生む一方、西方ではカリブ海の砂糖植民地や北アメリカのタバコ植民地を建設し、植民地に労働力を供給するため奴隷貿易を盛んに行った。こうして、ヨーロッパから運ばれた火器や綿織物がアフリカ西岸の黒人国家で奴隷と交換され、連行された奴隷が植民地で砂糖やタバコと交換され、それらの世界商品がヨーロッパに運ばれるという大西洋三角貿易が展開された。これら一連の貿易は、ヨーロッパ各国に大きな利益をもたらすものであったが、それだけに各国間の競争と対立を引き起こした。イギリスは、なかでもフランスと100年以上にわたって断続的に戦争を行ったが、それらはいずれも植民地戦争をともなっていた。国債の発行により戦費の潤沢なイギリスはことごとく勝利し、七年戦争で決定的な勝利をおさめると、北アメリカおよびカリブ海植民地を中心とする帝国を形成した。そのなかで、膨大な人口を奪われて社会の荒廃をみたアフリカ、単一の輸出向け商品作物生産に依存するモノカルチャー経済が形成された植民地は、分業と支配・従属の体制に組み込まれ、低開発の状態におかれた。

(591字)

〔2〕（40点）

問1 (1) トマス=モア

(2) A サン=シモン

B オーウェン（ロバート=オーウェン）

(3) 工場法

問2 ロンドン

問3 (1) ドイツ社会民主党

(2) 1914年に第一次世界大戦が勃発すると、第2インターナショナルに加盟する多くの政党が自国政府の戦争遂行に協力したため。(57字)

問4 (1) 『新青年』『青年雑誌』も可)

(2) 胡適

問5 小林多喜二

問6 (1) 一国社会主義論

(2) 社会主義の建設はソ連単独でも可能であるという理論。(25字)

問7 ティトーが首相を務めるユーゴスラヴィアがソ連の支配を拒否して自主路線をとり、1948年にソ連が主導するコミンフォルムから除名されたため。(66字) (10点)

〔3〕 (30点)

問1 ラティフンディア (ラティフンディウム)

問2 (1) ソグド人

(2) ③④

問3 ②⑥

問4 里甲制

問5 ジャックリーの乱

問6 (1) 北魏

(2) 兩税法

問7 B ダレイオス1世

C サトラップ

問8 アショーカ王

問9 形勢戸

問10 (1) エンコミエンダ制

(2) ポトシ

問11 日韓基本条約